

Life newspaper

笑顔の輪が広がるように

★七夕に願いを込めて

7月に入り梅雨明けが待たれる昨今ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、新型コロナウイルスですが、一向に治まる気配がありません。緊急事態宣言が解かれ、都道府県をまたいでの移動制限が無くなり、経済活動がようやく再開したその矢先、感染者数が拡大してきました。島根県内での感染者は2ヶ月以上確認されていませんが、この先どうなることでしょうか。今一度気を引き締めて社会的距離（ソーシャルディスタンス）をとりマスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の徹底、3密を避け新しい生活様式を取り入れましょう。そして、また豪雨により多くの被害ができました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。我々も明日は我が身と思ひ日頃よりハザードマップや避難場所の確認、また、避難訓練などできる限りの災害対策をし明日来るかもしれない災害に備えたいと思います。後は七夕に願いを込めて・・・

文月に意味と由来・言語とは

文月の言語は諸説ありますが、「文被月（ふみひろげづき・ふみひらきづき）」が短くなって「文月」になったと言説が有力だそうです。「文被月」は「文（ふみ）を広げて晒す月」と言う意味があり、7月7日の七夕に、短冊に願い事や詩歌を書いて笹に飾る風習を指しています。他には中国では七夕に書物を虫干し（天日干し）する習慣があり、「文開く月（ふみひらくつき）」と呼ばれていたのが「文月」になったと言説や、収穫期の稲穂にお米が含まれることから「穂含み月（ほふくみづき）」や「含み月（ふくみづき）」と呼ばれていたのが「ふづき」になった説などがあるそうです。



笹巻き作り名人 吾郷プロの登場に歓声!

笹巻き作り



歴史・由来・関連行事
練った米粉を熊笹で巻いてゆでたもの。旧暦・端午の節句の伝統食として根づいている。そのほか、田植えの骨休みや代満（田植えが終わったあとの祝い日）、7月2日の半夏などの行事のときにも食べる風習がある。熊笹は殺菌・防腐効果があるとされている。そのため、古くは切り傷などの包帯として用いられていた。その効能にちなんで、子どもの健康を願って食されている。

東部地域では「ちまき」、隠岐地域では「まき」と、地域によって呼び名が異なる。隠岐は笹の葉だけでなくかやの葉を用いることも多く、これを「かやまき」と呼ぶ。また、各家庭によってもち米の粉とうるち米の粉の割合が異なり、加える水の量やこねる時間、笹の巻き方や結び方はさまざまである

笹巻きの作り方
1・もち米粉とうるち米粉を合わせ、ゆるま湯を少しずつ入れて混ぜながら手でこねる。ゆでた後に笹の葉にくっつかないようにするため、15分くらいしっかりとこねる。目安は耳たぶくらいの硬さ。
2・およそ50gずつに分けて丸め、芯棒に刺し、はたこを被せる。
3・2を笹の葉3枚で包む。さらに別の笹の葉を巻き付けて、巻き終わりをひもで結ぶ。
4・5本ずつひもで束ね、餅のほうを下にして立てた状態で15〜20分ゆでる。
5・ゆでた後は、芯棒を串にして手を汚さずに、きな粉や砂糖じょうゆを付けて食べる。

大正生まれ大奮闘!!

らいふ菜園絶好調



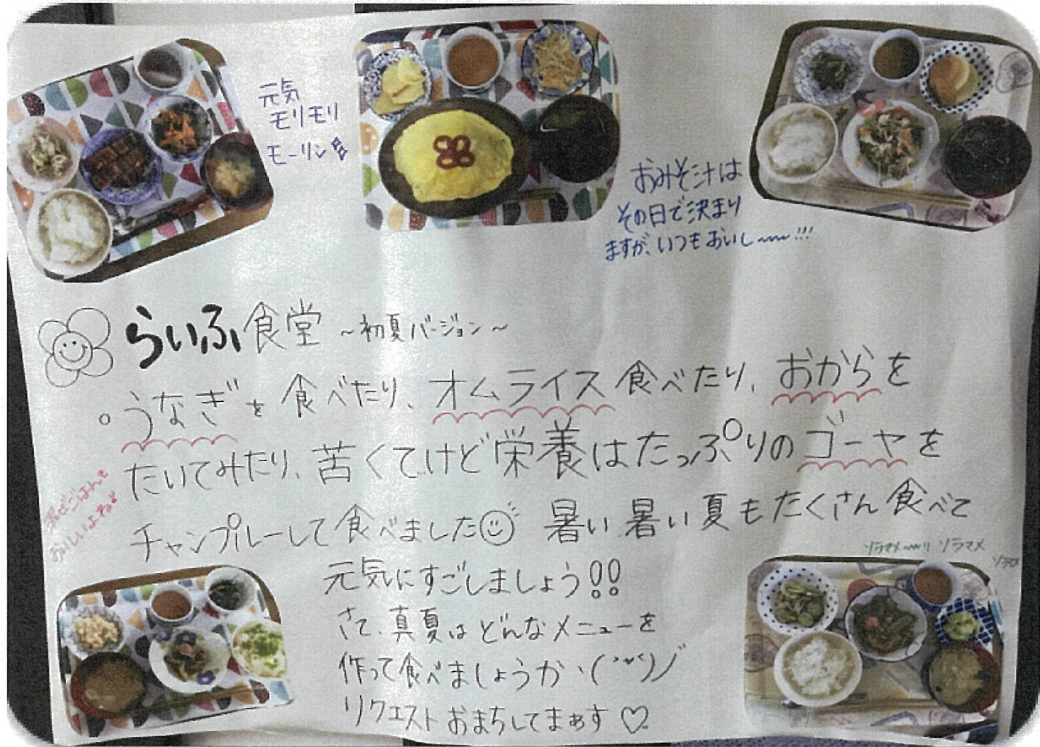
坪倉 勝美さんは大正12年生まれ96歳 フカフカの土の上に仁王立ち、大きな夏大根を引き抜きました、凄いですね～元気いっぱいです!



らいふ嫁島デイサービス 1日の流れ

9:30 朝茶・バイタルチェック（体温・血圧・脈拍の測定）入浴・余暇・創作活動 11:45 口腔体操・昼食・口腔ケア・午睡 14:00 体操・歌・レクリエーション 15:00 おやつ 15:30 余暇活動及びゲーム

（火曜日）（水曜日）（木曜日）は利用者の方と職員でお昼ご飯の準備をします…野菜を洗う・皮を剥く・包丁を使い食材を切る・ハサミで食材を切る・味付けをする・煮る・炒める・盛り付ける等。利用者様のレベルに合わせて出来ることをしてもらいます。その他、外出レクリエーションや菜園の手入れなど。少人数なので利用者に即した内容で楽しんでもらえます。また、月に2回音楽療法士による音楽療法があります。子供の頃の童謡から懐かしの歌謡曲までみんなで歌ったり音楽に合わせて楽器を叩いたり、大人気のレクリエーションの一つです。



なるべく皆様のリクエストにお応えしようとスマホ片手にレシピを集めてメニューを決めています。便利な世の中になりましたね〜 うなぎ、オムライス、ゴーヤチャンプルー、サバの塩焼き、ハンバーグなど、みんなで作ると何でも美味しいですね。

らいふ嫁島のデイサービスは女性陣の勢力が大きいようです。今のところ、男性利用者は2人と寂しい限りです。やはり女性は強しと云うところでしょうか。らいふ嫁島デイサービスの特徴はスタッフとの触れ合いが多く、目の行き届いたサービスです。また女性が多いのでわかあいあいと和やかな雰囲気です。また、少人数だからこそそのフットワーク活かし外出レクなど楽しいことが盛り沢山。利用者様のレベルに合わせてレクリエーションを考えています。お問い合わせ（0852・61・8868）

お食事 らいふ食堂



cafe Yomeshima



穴道湖からの風が気持ちの良い午後はカフェタイム。美味しいスイーツで思わず笑顔に、女子ですね〜

梅雨の晴れ間に紫陽花を見に行きました。らいふ嫁島が誇る美女軍団をパシャリ、パシャリ。
吉岡介護職員が6月末で退職しました。利用者さんに人一倍優しく接し、明るく真面目な彼女は介護の経験を活かして次なるステージへ...皆んなで応援してるよ〜頑張れ〜